



\\ 地域住民など約35人が参加 //

10/17
(日)

津波避難箇所探索 ウォークラリー開催



市内の津波災害警戒区域内において、地域交流と防災意識を推進することを目的に、町端区自治会主催で津波避難箇所探索ウォークラリー大会が開催されました。ウォークラリー大会では、子どもたちが大人とペアになり、津波避難ビルに指定されている第一市営住宅の屋上などチェックポイントを周り、ゴール後には協賛企業から提供のあった景品で抽選会が行われました。参加した子ども達からは「見たことがある建物だったけど、上ると高くてびっくりした」や「またウォークラリー大会に参加したい」といった感想が聞けました。

\\ 糸満中の上原さんが所属 //

10/15
(金)

カーサ・オキナワ・アレ 県大会優勝報告



女子サッカーチーム casa okinawa ale (カーサ・オキナワ・アレ)に所属する糸満中学校の上原琉乃さんと監督の塩川健勇さんが、サッカーおよびフットサルの県大会優勝報告・九州大会の派遣報告のため、市役所を訪れました。カーサ・オキナワ・アレは、4つの県大会を制覇し、九州大会へ派遣が決まっています。上原さんは「大会では、声が出せなかったり、得点に絡んだりすることができなかった。九州大会では、得点に絡めるようなプレーをしたい。頑張るので応援よろしくお願いします」と話しました。

\\ 第31回永井隆平和賞 //

10/21
(金)

上原さん、山城さんが 受賞報告に訪れました



島根県雲南市などが主催する「第31回永井隆平和賞」で糸満南小学校4年生の上原諒さんが小学校高学年の部で最優秀賞、高嶺中学校3年生の山城万奈美さんが中学生の部で佳作をそれぞれ受賞し、その報告をするため市役所を訪れました。この賞は、原子爆弾により白血病に侵されながらも世界に平和を訴え続けた永井隆博士の精神を受け継ぎ「愛」と「平和」をテーマとした作文を全国から募集するもので、今年度は全国から1,064作品の募集がありました。上原さんは「お母さんに進められて応募して、最優秀賞を受賞することができて嬉しい」と、山城さんは「受賞できると思わなかったので驚きました」とそれぞれ感想を話しました。

\\ 優良団体に選出されました！ //

10/4
(月)

第61回中小企業 団体九州大会



中小企業者のうちから、組織体制や運営が特に優れた組合を選出し、表彰を行っている第61回中小企業団体九州大会において、糸満市電管事業協同組合が優良組合として表彰され、受賞のよろこびを報告するため、同組合役員らが糸満市役所を訪問しました。玉城裕一理事長は、「24時間365日体制の上下水道の維持管理は大変ですが、九州レベルでの実績が評価されたことは大変光栄であり、今後とも精進してまいります」と話しました。当銘市長は「受賞おめでとうございます。皆さんの日々の活動が市民生活を支えております。更なる発展とご協力をお願いします」と激励しました。

\\ 人材育成などで役立ててほしい //

10/7
(木)

株式会社國吉商店から 200万円の寄付



株式会社國吉商店の國吉浩代表取締役社長と國吉利江子専務が市役所を訪れ、寄付金200万円を贈呈しました。今回の寄付は、糸満市の子ども食堂や人材育成、社会福祉協議会を支援することを目的に寄付されています。國吉社長は「國吉商店が仕事できるのも糸満市や市民の皆さまのお陰だと感謝しています。今後も私たちができることはやっていきたいと考えていますのでよろしくお願いします」と、國吉専務は「子どもたちが未来を描けるような形を、若い子どもたちのことをお年寄りが心配なく、糸満いいよねという環境づくりを少しでもできたらと思いながら、毎年少しずつ寄付させていただいています。寄付金を有効に使っていただけたらありがたいです」と話しました。



10/7 (木) \\ かおる医院子ども支援第2弾 // 子ども食堂を開催！

耳鼻咽喉科かおる医院が、長年地域に支えられた事への感謝と恩返しとして、今年4月に立ち上げた地域貢献企画(KaFuuプロジェクト)。その第2弾として、10月7日(木)から4週連続で、子ども食堂 with キッチンカーを開催しました。子ども食堂では、かおる医院の駐車場にキッチンカー 2台を並べ、本格窯焼きピザと極旨ヤンニョムチキンをセットにし、小学生以下の子育て世帯に無償で提供(毎週先着50組)されました。かおる医院の新垣香太さんは「多くの家族から喜びや感謝のコメントをいただき、今回実施した支援の意義を感じることができました。今後も何らかの形で、地域の子どもたちとその支援者を応援するような企画を考えていきたい」と話しました。